



美作市議会議員

なかにし りゅうた
中西竜太

みんなで前進

「新しいみまさか」



みんなのみまさか

中西竜太 事務所

発行：美作市議会議員 中西竜太

〒707-0045 岡山県美作市巨勢992-7

tel: 0868-75-4755

email: ryu.nakanishi@gmail.com

hp: <https://mimasaka.life>

討議資料

皆さま、どうぞよろしくお願いいたします！

このたび、美作市議会議員として活動をはじめることになりました。これまで、温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。地元で育ち、地域の皆さんに見守られてきた私にとって、このまちをもっと暮らしやすく、元気にしていきたいという思いは、ずっと胸の中にありました。子どもからお年寄りまで、世代をこえてつながり、支え合える美作市を目指して。「ちょっと声をかけ合える」「気軽に相談できる」そんな地域のつながりを、これからも大切にしていきたいと思います。皆さんの声にしっかりと耳を傾けながら、ひとつひとつ、できることから着実に。小さな一歩を積み重ね、前へ進んでまいります。

6月定例議会 本会議 一般質問と執行部の答弁

01 生成AIの活用とDX推進について

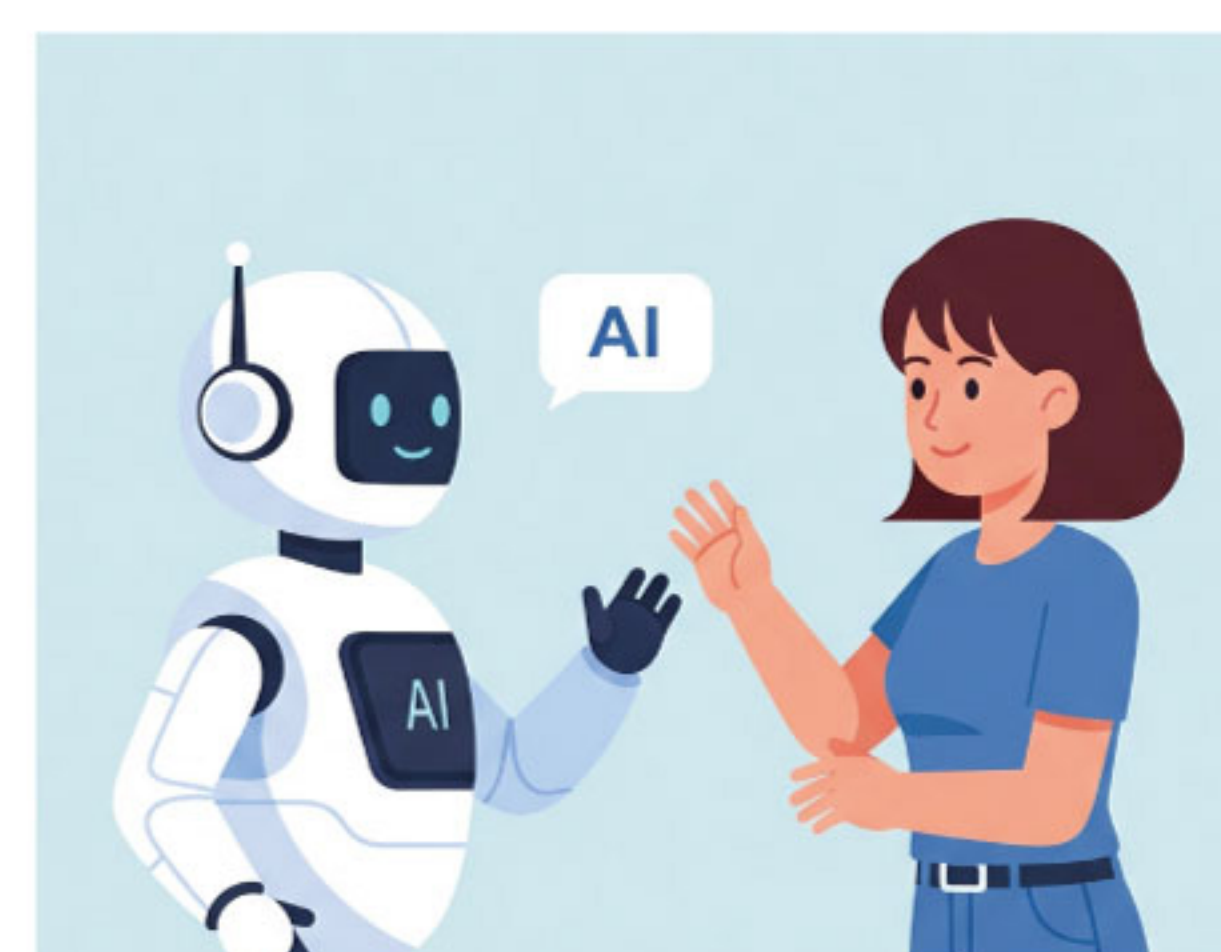
DX(デジタル技術による暮らしや仕事の改善)は、難しそうに聞こえますが、実は私たちの身近にもある便利な仕組みです。最近、AIが文章を作ったり資料をまとめたりする「生成AI」も広がっており、このような新しい技術を職員の業務の手助けになるよう、上手に取り入れて、職員の業務負担を減らしながら、市民サービスもよりよくできないか、議会で質問しました。

【質問】

市役所業務に生成AIを導入する予定はあるか？また、セキュリティを確保したAI利用環境の整備についての考えは？

【執行部からの答弁】

生成AIは、情報収集や文書作成などの定型業務を自動化し、職員の負担軽減や業務の効率化が期待される一方で、入力した情報が外部に学習されるリスクがあるため、安全な環境づくりが導入の課題となる。市では、信頼できるAI事業者のサービスを活用することも視野に入れながら、費用対効果も含めて、導入に向けた具体的な検討を進めていく方針。



02 地域猫活動への対応と地域共生に向けた施策について

野良猫への安易な餌やりによる繁殖で、地元地域や、美作市全域においても糞尿被害などのトラブルが多く発生しています。これに対し、住民合意のもと不妊・去勢手術を行い、地域で見守る地域猫活動が注目されていますが、活動予算が不足している状況にあります。こうした背景から、美作市の現状認識と地域猫活動への支援体制について質問を行いました。

【質問】 地域猫活動への支援制度の継続および拡充の可能性について、他

【執行部からの答弁】

地域猫活動の補助金の当初予算が5月8日時点で上限に達し、来年度予算で拡充を検討する。今年度は、公益財団法人どうぶつ基金の不妊去勢手術無料チケットを行政枠で申請する。活動支援として貸出用猫保護器を7台追加購入し合計10台とし、無責任な餌やり防止の啓発活動も強化する。



03 新庁舎屋根の排水構造と維持管理計画について

美作市の新庁舎の屋根は、デザイン性を重視した構造で、中央に4つのルーフドレン(排水口)があります。しかし、枯葉などで排水口が詰まると、屋根全体が冠水するリスクが指摘されています。近年は集中豪雨など「想定外」の気象現象が増加。この状況を受け、市民の安全と市有財産の保全のため、市に対し以下の質問を行いました。

【質問】 排水構造の安全性とリスク認識及び点検・清掃体制について

【執行部からの答弁】

新庁舎の屋根は陸屋根と勾配屋根の組み合わせで、雨水は4つの排水口から排水され、ドレンの詰まりや豪雨対策として、予備ドレンとオーバーフロー管を設けている。直径200mmの大口径ドレンの点検・清掃は市職員で安全に行うことができ、清掃用具も常設。よって、排水自体の維持管理予算は未計上だが、今後、専門的なメンテナンスの業務委託や、故障時の迅速な対応体制の整備が必要だと考えている。

04 人口減少対策への取り組みと林野高校の存続について

美作市は深刻な人口減少に直面しており、特に若者の市外流出が顕著です。市内唯一の県立高校である林野高校は、R10年度に1年生が100人を下回ると再編整備の対象となります。もし高校がなくなれば、進学による若者の市外流出が加速し、子育て世代の定住意欲も低下、人口減少がさらに深刻化する懸念があります。林野高校の存続は、人口減少に歯止めをかけるための重要な教育環境充実策です。そこで、美作市が林野高校の存続と人口減少対策をどう関連づけ、どのような方針で取り組むのか質問しました。

【質問】 高校の存続と人口減少の関連性をどう捉えているか、存続に向けた姿勢と方針は？

【執行部からの答弁】

高校の存続は地域活性化に寄与し、子育て世代の減少等に直結する深刻な課題と認識している。現在、高校のサポート団体としてコンソーシアムの設立に向け、国の交付金活用を検討している。秋頃には活動の概要が明確になってくる。

その他の主な活動・取り組みについて

議員としての活動はまだ始まったばかりで、分からないことも多くありますが、日々学びながら一つひとつ丁寧に取り組んでいます。活動の中で、特に感じているのは、議会で話し合われていることを、もっと地域の皆さんにわかりやすく伝えていく必要があるということです。現在、美作市議会では「議会改革特別委員会」が設置され、私の方からは、議会でのICTの活用、議会中継のインターネット配信、市民との意見交換の場づくり、議会広報誌の改善など、時代に合った開かれた議会を目指す取り組み提案を行っています。



林野高校の存続と魅力化を目指し、地域で支えていくための「コンソーシアム(協働体)」の設立に向けて、同窓会や地域の皆さんと共に取り組みを進めています。



参議院議員の「ヒゲの隊長」こと佐藤正久氏にお会いして、お話しをお伺いし、国防について意見交換を行い勉強をさせていただきました。次回は参政党の神谷代表のお話しをお聞きする予定です。